

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	解剖学1	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	4単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書（ 解剖学 ー 社団法人 全国柔道整復学校協会 監修ー ）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	千坂 英輝		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
柔道整復学の基礎となる人体の正常構造について、組織学、発生学、画像解剖学の知識とともに統合的に理解することを主な目的としている。人体構造の基本原則、細胞、支持組織、脳・神経系の構造を学び、基礎医学、臨床医学の基礎をつくることがねらいである。教科書の図に合わせ適宜プリントを配布するとともに各種模型を用いてそれぞれの器官について三次元的にイメージが出来るように注意を払い、近年の医療革新からくる身体構造の知識の必要性に答えながら、上記関連学問と関係づけて授業を進める。					
到達目標					
人体構造の系統を把握し、人体の正常構造について統合的に理解し、器官と部位の解剖用語を正確に述べられること、人体構造の基本原則、細胞、支持組織、脳・神経系の構造等について器官の肉眼解剖学的構造と細胞・組織構造を関連づけることができ、説明できること、器官の三次元的関係を把握し、画像解剖学と対応させながら、説明でき、単に人体部位の名称の羅列ではなく、有機体としての人体の構造を自然科学の視点で捉え、基礎科目・臨床科目の学習の基盤となりうる、知識の基礎を身につけることを到達目標とする。					
教育方法等					
授業概要	解剖用語、細胞、支持組織、脳・神経系について正常構造を統合的に理解し、器官を三次元的に把握してそれらを細胞・組織構造と関連付けて説明出来るレベルに到達することを目指す。				
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	解剖学の意義、神経系1		解剖学の意義、用語、分類と神経系の分類を理解する。		
2回	人体の区分、神経系2		人体の区分、細胞の概説、神経細胞とその支持細胞について理解する。		
3回	細胞1、神経系3		細胞核、神経系の用語について理解する。		
4回	細胞2、神経系4		細胞核の働き、脳室系について理解する。		
5回	細胞3、神経系5		細胞質、髄膜について理解する。		
6回	細胞4、神経系6		細胞分裂、終脳について理解する。		
7回	細胞5、神経系7		上皮組織、機能局在と大脳辺縁系について理解する。		
8回	振り返り(1)		1回～7回までの振り返り		
9回	上皮組織、神経系8		重層扁平上皮、腺上皮、大脳髄質について理解する。		
10回	脳と心臓、神経系9		脳と心臓をDVD映像で学び、大脳核について理解する。		
11回	内分泌腺、支持組織1、神経系10		内分泌腺、支持組織、間脳について理解する。		
12回	支持組織2、神経系11		結合組織、中脳外景について理解する。		
13回	支持組織3、神経系12		軟骨組織、中脳内景について理解する。		
14回	振り返り(2)		9回～13回までの振り返り		
15回	解剖学1のまとめ		解剖学1全体を通しての振り返り		